

短大特任教員教育研究業績書

平成30年4月25日

氏名	ふりがな	所属	職位	性別
山本 真紀	やまもと まき	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・ <input checked="" type="checkbox"/> 講師・助教	男・ <input checked="" type="checkbox"/> 女

担当科目名

「音楽表現ⅠA」「音楽表現ⅠB」「音楽表現Ⅱ」「音楽表現Ⅲ」

学歴

和暦(西暦)年 月	事項	学位
平成23(2011)年3月	茨城大学院教育研究科 茨城大学院教育研究科修士課程修了	修士(教育学)
平成28(2016)年3月	聖徳大学大学院音楽文化研究科博士後期課程単位取得満期退学	博士(音楽)

教育歴・職歴

名称	期間	教育内容又は業務内容
東京未来大学	平成24年4月 ～平成27年3月	「音楽実技ⅠB」, 「音楽実技ⅡA」担当。
小田原短期大学	平成27年4月 ～現在に至る	保育学科通信教育課程「音楽表現ⅠB」担当。

所属学会等

名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
日本音楽学会	平成21年8月～現在	正会員
音楽学習学会	平成21年8月～現在	正会員
日本音楽教育学会	平成22年5月～現在	正会員
日本保育学会	平成28年5月～現在	正会員

担当教科目に関する資格・免許等

名称	取得年月	取得機関
中学校教諭専修免許 (音楽)	平成23年3月	茨城県教育委員会
高等学校教諭専修免許 (音楽)	平成23年3月	茨城県教育委員会

研究実績に関する事項

代表的な著書、論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
【論文】 1. 「フランツ・リストの表現手法に関する研究ー〈ダンテを読んでーソナタ風幻想曲〉における革新性を基にー」	単	平成23年3月	茨城大学	修士論文として、〈ダンテを読んでーソナタ風幻想曲〉にみられるフランツ・リストの表現手法上の独自性を研究した。
2. 「音楽科における鑑賞の授業構成に関するー考察ー範例方式を視点としてー」	共	平成24年3月	埼玉大学	共同研究。『埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』第11号(pp.137-144)にて論文発表。
3. 「国民学校令制定以前の鑑賞教育の実際ー鑑賞教材〈時計屋の店〉に着目してー」 (査読付き)	単	平成26年3月	聖徳大学	『聖徳大学音楽文化研究』第13号(pp.19-24)にて論文発表。

4. 『教育音楽』という用語にみるジャンル化戦略について—雑誌『音楽界』の分析から— (査読付き)	単	平成 27 年 1 月	音楽学習学会	学会誌『音楽学習研究』第 10 巻 (pp. 127-138) にて論文発表。
5. 『教育音楽』とは何を意味するか—雑誌『音楽界』における山本正夫の発言から— (査読付き)	単	平成 27 年 3 月	聖徳大学	『聖徳大学音楽文化研究』第 14 号 (pp. 39-45) にて論文発表。
6. 『教育音楽』という用語についての歴史的考察—明治期から大正期を中心として—	単	平成 30 年 3 月	聖徳大学	博士論文として、明治期から大正期における「教育音楽」という用語の使用分析を行い、存在意義と歴史的意義を明らかにした。
【学会発表】 1. 『範例方式』に基づく音楽教授の考察—フランチ・リストを題材とする拡がり— (口頭発表)	単	平成 22 年 8 月	音楽学習学会	第 6 回大会研究発表。(於：埼玉大学)
2. 「音楽科における鑑賞の授業構成に関する—考察—『範例方式』による授業構成の試案」 (口頭発表)	単	平成 23 年 8 月	音楽学習学会	第 7 回大会研究発表。(於：埼玉大学)
3. 「日本の音楽教育の展望について」 (口頭発表)	共	平成 24 年 12 月	東亜細亜楽律学会	共同研究。東亜細亜民俗音楽祝祭第 7 回大会研究発表。(於：釜山大学校学術大学)
4. 「国民学校令制定以前の鑑賞教育の実際—鑑賞教材〈時計屋の店〉に着目して—」 (口頭発表)	単	平成 26 年 7 月	音楽学習学会	第 10 回大会研究発表。(於：埼玉大学)